

京都帝國大學法學科大學

經濟論叢

第三卷 第六號

大正五年十二月一日發行

論說

戰時ノ我輸出品ノ粗製濫造(一)

戸田 海市

最小活資ノ免稅ヲ論ズ(三、卷)

神戸 正雄

參觀交代制度ノ經濟觀(二)

本庄 榮治郎

『座』ノ研究(三)

三浦 周行

代表紙幣ト獨立紙幣(三、完)

作田 莊一

雜錄

公營造物ニ關スル美濃部、織田、松本三博士ノ所論ヲ讀ミテ東京市電車舊乘車券問題ニ及ブ(三、完)

福田 德三

戰後ノ經濟戰ニ對スル準備

神戸 正雄

簡易保險更張ノ一方面

財部 靜治

歐洲ニ於ケル工場監督機關ニ就テ(二)

山本 美越乃

人口ト勞銀ノ趨勢

高田 保馬

經濟雜話(六)

田島 錦治

經濟漫錄(三)

瀧本 誠一

金井法學博士在職二十五年祝宴記事

田島 錦治

社會政策學會第十回大會記事

瀧上 正雄

京都法學會大會記事

經濟論叢

第二卷 第六號 (總卷第十八號)

大正五年十二月發行

論說

戰時ノ我輸出品ノ粗製濫造 (一)

戸田海市

目次 一 粗製濫造ノ原因、二 粗製濫造取締ノ必要、三 生産者商標ノ強制、四 公ノ輸

出品検査 (検査スヘキ商品、検査ノ標準、検査ノ法律上ノ效力、検査ノ機關)

一 粗製濫造ノ原因

歐洲戰爭ノ影響トシテ我工業品ノ輸出カ急激ニ増加スルト共ニ、粗製濫造ノ批難カ盛ンニ起ツテ來タ。此批難ノ中ニハ外國商人ノ商略上ヨリ起ツタ不當ナモノモ少ナクナイテアラウガ、實際家ノ多數ノ意見ニ由レハ大體ニ事實ニ當ツテ居ル。只タ汎ク世間ニ粗製濫造ト稱スルモノ、中ニハ廉價ノ下等品ヲモ含ムコトヲ常トスルガ、下等品ノ生産輸出ハ強チ批難スルヲ得ナイ。今日マテ

我國カ歐洲先進國ト競争シテ東洋南洋ノ市場ニ漸次優勢トナリツツアルハ、實ニ彼ノ高價ナル上等品ニ對スルニ我カ低廉ナル下等品ヲ以テシ、之ニ由テ一般ニ購買力ノ微弱ナル東洋南洋ノ民衆ノ需用ニ適合スルカラテアル。併シ乍ラ我輸出品ノ中ニハ其生産輸出ノ上ニ自殺的ノ惡影響ヲ及ホスカ如キ粗製濫造ノ少ナカラサルコトハ爭ハレナイ。然ラハ如何ナルモノカ此ノ如キ惡影響ヲ生スルヤト云フニ、需用者モ品質ノ粗惡ナルコトヲ知り乍ラ其價ノ廉ナルカ爲メ之ヲ購買消費シタ後、結局其ノ不經濟ナルコトヲ發見シテ需用ノ減退ヲ生シ、之カ爲メ其生産ニ投シタル資本勞働ノ多クカ價值ヲ失フノ損失ヲ生スルカ如キ場合モアルガ、此ノ如キ結果ヲ生スルコトハ其生産輸出ノ際ニハ未ダ正確ニ豫想スルヲ得ナイ、從ツテ此ノ如キ下等品ノ生産ヲ一概ニ粗製濫造トシテ排斥スルヲ得ナイ。然ルニ見本ノ呈示ニ由ルカ又ハ商慣習ニ由ルカ若クハ商品需用ノ性質ヨリ見テ、品質ニ關シ當事者ノ間ニ意思ノ一致アルヘキ取引ヲ履行スルニ方リ、之ヨリモ品質ノ劣レル商品ヲ引渡シ、特ニ商品ノ用途ヨリ見テ當然ニ具備スヘキ性質ヲ缺クカ爲メ、之ヲ購買スル者ハ如何ニ廉價ナリト云フモ尙ホ損失ヲ免レサルコトノ明カナルカ如キ商品ヲ輸出スル場合ニハ、早晚有害ノ結果ヲ生シ來ルヘキコトヲ豫知スルニ難クナイ。此種ノ粗製濫造カ需用者ノ反感ヲ生シ道德上ノ批難ヲ惹起スルハ當然テアル。目下世上ニ問題トナレル粗製濫造ハ主トシテ此種ノモノテアツテ、予輩ノ是ヨリ研究セントスル所モ之ニ關シテテアル

粗製濫造ノ弊ハ戰爭前ニモ存在シ、又獨リ輸出ノ方面ノミナラス、國內ノ取引ニ於テモ之ニ劣ラサル弊害カ存在スル。其原因ハ我國民ノ一般生活ニ於ケルト同シク經濟生活ニ於テモ規律ノ嚴正ナラサルコトヤ、目前ノ成功ヲ急イテ遠大ノ志望ニ乏シキコトヤ、工業ニ従事スル者ノ多クカ金錢上ノ損得ノ外ニ仕事自身ヲ樂シミ、特ニ技術的ノ仕事ニ興味ヲ感スル程度ノ不充分ナコトニモ存スルガ、更ニ重大ノ原因ハ多數ノ工業品ノ生産カ家内工業ノ如キ幼稚ナル小企業ニ由テ經營セラルルコトテアル。現ニ我輸出品ニテモ大規模ノ工場組織ニ由テ生産セラレルモノニ付テハ、粗製濫造ノ批難カ殆ント皆無テアルノヲ見テモ此事ハ明カテアル

小企業ノ生産物ニハ何故ニ此弊害カ多キカト云フニ、第一此種ノ生産物ハ大工場生産物ノ如ク繰返シテ整一ノ働ヲ爲ス所ノ機械ノ力、又ハ略ホ同様ノ働ヲ爲ス所ノ細密ナル分業勞動ノ力ニ由ラス、主トシテ手工的勞動ニ依頼シ、特ニ企業者ノ監督ノ及ヒ難キ家内工業勞動者ノ手ニ成ルモノカ多キヲ占ムル故、其品質カ區々不整一トナリ、從ツテ之ヲ寄セ集メテ大量品トシテ引渡ストキハ、見本又ハ取引慣習ニ由テ定マレル品質ト一致シナイ結果トナルハ已ムヲ得サル所テアル

第二ニ生産カ多數ノ小企業者ニ由テ營マルルトキハ、生産者ノ商人ニ對スル勢力カ弱キ爲メ常ニ商人ノ意思ニ服從セテハナラス、元來工業家ハ金錢ノ損得以外ニ技術上ノ成功ヲ誇リトシ、從ツテ成ルヘク優良品ヲ生産セントスルノ傾向ヲ有スルノミナラス、通例其生産ニ付テ他ニ轉用シ難

キ固定資本ヲ有シ、又ハ之ニ特有ナル技能熟練ヲ有スルカ爲メ、其生産ト一身ノ浮沈ヲ共ニスルノ地位ニ立ツ者テアリ、從ツテ目前ノ小利ノ爲メニ粗惡品ヲ造ツテ永久ニ信用ヲ失墜スルコトヲ恐レルノ程度カ大テアル。然ルニ其生産物ヲ取扱フ所ノ商人ハ此等ノ點ニ付テ工業家ト著シク事情ヲ異ニスルノミナラス、其ノ本務トスル所ノ市場ノ掛引競争ニ於テ直接ニ效力ノ見ヘル手段ハ通例價格ヲ引下ケルコトテアルカ爲メ、工業家ニ對シテ注文ヲ發スルニ方リ極力價格ヲ値切り、品質ニ關スル要求カ比較的寛大ニ失スルヲ免レナイ。此場合ニ工業家カ有力ナル大企業家テアレハ、此ノ如キ注文ニ反抗シテ價格ヲ維持シ得ルニ反シ、多數ノ小企業者カ爭フテ商人ノ注文ヲ引受ケントスルトキハ、過度ニ廉價ノ注文ヲモ引受ケルコトトナルノテアルガ、其結果ハ自然ニ品質ヲ粗惡ナラシメ、特ニ表面ヲ完備シテ内質ヲ粗惡ニスルカ如キ欺瞞的手段ニ訴ヘテ損失ヲ免レントスル

第三ニ生産カ大規模ノ工場組織ニ由テ行ハルルトキハ、通例其生産物ニハ一定ノ商標ヲ附シテ市場ニ供給セラレ、從ツテ其生産者ハ品質ヲ優良ニスレハ世ノ信用ヲ得テ自カラ利スルニ反シ、粗製濫造ヲ行ヘハ自カラ損失ヲ蒙ムルト云フカ如ク、生産者カ直接ニ消費者ニ對シテ責任ヲ負フコトトナル。然ルニ生産カ多數ノ小企業ニ由テ行ハルトキハ其品質ノ區々ナルカ爲メ、之ニ各生産者ノ商標ヲ附スルコトカ實際ニ困難トナルノミナラス、假令ヘ其生産者ノ中ニ略ホ整一ノ生産ヲ

行フテ之ニ自己ノ商標ヲ附シ得ルカ如キ生産組織ヲ有スル者カアツテモ、之ヲ取扱フ所ノ商人カ生産者ヲ壓迫シテ其商標ヲ附セシメナイ、場合カ多イ。是レ其商品ニ生産者ノ商標カ附セラレテ需用者ノ信用ヲ博スルトキハ、需用者ハ特ニ其商標品ヲ指定シテ商人ニ注文シ、從ツテ商人ハ其他ノ生産者ノ商品ヲ以テ其注文ニ應スルヲ得ナイ。故ニ此場合ニ商人カ其特定品ヲ生産者ニ注文スルニ方ツテ過度ニ價格ヲ値切り、若シ之ニ應セサレハ他ノ生産者ニ注文スヘシトテ之ヲ脅カシ、即チ多數生産者ヲシテ互ニ自殺的競争ヲ行ハシメテ漁夫ノ利ヲ占ムルト云フ慣用手段ヲ行ヒ難ク、却ツテ往々商人カ生産者ニ對シテ從屬的地位ニ陥リ、確定セル僅小ノ口錢ニ甘シテ其生産物ヲ取扱ハサルヲ得サルニ至ルカラテアル。然ルニ生産者カ各自其生産物ニ自己ノ商標ヲ附シテ需用者ニ對シ直接ニ責任ヲ負ハナイ場合ニハ、特ニ優良品ヲ生産シテモ自カラ利益スルヲ得サルト同時ニ、私カニ粗製濫造ヲ行フモ獨リ自カラ其損失ヲ蒙ムルヲ要シナイ。此ノ如キ狀態ノ下ニ在テハ獨リ恒産ナキ小生産者ノミナラス、相當ニ大規模ノ生産者マテモ互ニ眼前ノ小利ノ爲メ争フテ粗製濫造ヲ爲スニ至ルハ已ムヲ得ナイ。多數ノ小企業ノ生産物ヲ集合シテ輸出ヲ爲スニ方ツテハ、往々商人カ自己ノ商標ヲ之ニ附スルコトモアルガ、本來此場合ノ商品ハ品質不整一ナルカ爲メ、此ノ如キ商人ノ商標ハ生産者ノ夫レノ如ク大ナル信用ヲ得難イ。特ニ商人ハ技術上ノ鑑識力カ生産者ノ如ク大ナラサル爲メ、生産者ヨリ注文ノ商品ヲ受取ル際ニ行フ所ノ検査モ不完全ナ外面的

ノモノトナツテ眞ニ品質ノ検査統一ヲ行ヒ難ク、又商人ハ生産者ノ如ク特定ノ商品ノ信用ト浮沈ヲ共ニスル者テナイ爲メ、其取扱商品ニ自己ノ商標ヲ附スル場合ニモ、永遠ニ其商標ノ信用ヲ維持セントスルノ意思カ生産者ノ如ク強クナイ。故ニ商人カ其取扱商品ニ自己ノ商標ヲ附スルコトハ、全ク商標ヲ附セスシテ之ヲ取扱フ場合ニ比スレハ幾分カ粗製濫造ヲ防クノ力アリトハ云ヘ、其力ハ極メテ微弱ナルモノテアル。固ヨリ此場合ニハ個々ノ生産者ハ直接ニ消費者ニ對シテ責任ヲ負フコトヲ得ナイカラ、生産者自カラ粗製濫造ヲ慎シムコトハ望マレナイ

第四ニ粗製濫造ノ起ルハ需用ノ増加セル好景氣ノ時テアツテ不景氣ノ際ニハ稀レテアル。然ルニ好景氣ノ際ニモ一般消費者ハ成ルヘク在來ノ慣習的價格ヲ以テ購買セントシ、商人カ價格引上ケノ理由ヲ説明シテモ、市場ノ狀況ニ通セサル一般消費者ハ商人カ不當ノ利ヲ貪ルモノノ如ク疑フテ容易ニ其引上ケニ同意シナイ傾カアル。故ニ好景氣ノ時ニハ製品ノ價格ハ早脱騰貴シテモ其勢ハ遅々タルニ反シ、原料ノ價格ハ一層速カニ騰貴スルコトヲ常トスル。資力ノ豊富ナル大規模ノ生産者ハ、原料ノ騰貴ノ大ナラサル間ニ充分ノ原料ヲ仕入レ得ルノミナラス、原料商人ノ勢力ニ對抗シテ妄リニ其價格ヲ引上ケサセナイ。加之大規模ノ生産者カ好景氣ノ爲メニ其生産高ヲ増加セントスル場合ニハ勞働者ノ増加、勞働時間ノ延長、分業方法ノ改良、機械運轉ノ速度ノ増加、等ニ由テ生産設備ヲ以前ヨリモ完全ニ利用スルコトニヨリ、生産高ヲ増加シテ生産費ノ割合ヲ減少

シ得ル故、一方ニ原料カ相當ニ騰貴シテモ生産物ノ價格ヲ引上ケル必要ニ迫ラレス、時トシテハ一層價格ヲ引下ケテ販路ヲ擴張スルコトカ出來ル。又原料及勞銀ノ騰貴ノ爲メ生産物ノ價格ヲ引上ケルカ、然ラスンハ其價格ヲ据置テ品質ヲ粗惡ニスルノ必要ニ迫ラレタ場合ニハ、後日ノ大損失ヲ招クカ如キ粗製濫造ヲ行フヨリモ寧ろ價格引上ケテ斷行スルコトヲ常トスル。然ルニ生産カ多數ノ小企業ニ由テ行ハレル場合ニハ、需用ノ増加ニ應シテ生産増加ヲ行フカ爲メニ既存ノ生産設備ノ完全利用ニ由リ生産費節減ヲ行ヒ難ク、經驗熟練ヲ有セサル多費ノ新企業ノ増設ニ由テ生産増加ヲ行フコトトナル。故ニ生産ノ増加ニ從フテ限界の生産費ノ増加スルコトハ、恰モ土地生産業ニ於ケル生産増加ノ爲メ漸次劣等地ノ利用ヲ必要トスルヨリ限界の生産費ノ増加ヲ來タスト相似タル結果ヲ生スル。又我輸出品ノ多數ハ家内工業組織ニ由テ生産セラレルモノテアルカ、其中ニハ他ニ特別ノ職業ヲ有セサルヨリ微細ノ小使錢ヲ得ルニ甘シテ勞動ヲ爲ス所ノ下層社會ノ婦女老幼ノ手ニ由テ生産セラレタルモノカ頗フル多イ。然ルニ此種ノ至廉ナル勞動ノ供給ニハ限リカアル。故ニ生産増加ノ爲メ急ニ勞動ノ需用ヲ増加スレハ、其勞銀カ比較的急速ニ騰貴スル。加之目前ノ需用ニ應シテ小量ツツ原料ノ仕入ヲ爲ス所ノ小企業者ハ、原料ノ急速ノ騰貴ノ爲メニモ打撃ヲ蒙ムラネハナラス。要スルニ小企業ニ由ル生産ハ需用ノ増加ニ應シテ生産ヲ増加セントスレハ、生産費ノ減少ヲ來タサスシテ其増加ヲ來タスコトヲ常トスルガ、此場合ニ小企業者ハ價

格ノ引上ヲ斷行スルノカヲ有セサル爲メ品質ヲ粗惡ニシ、特ニ外觀ヲ整ヘテ實價ヲ下タスカ如キ手段ニ陥リ易イ

以上ハ我國ニ於テ粗製濫造ノ起リ易キ一般的原因ノ主ナルモノテアルガ、戰時ノ今日ニ於テ輸出ニ關シ此批難ノ多ク起ツタコトニ付テハ特別ノ原因カアル。其ノ主ナルモノハ第一ニ目下ノ輸出増加ハ從來ヨリ我輸出品ヲ消費セシ地方及階級ノ需用ノ増加シタ爲メテアル部分モナイテハナイガ、更ニ大ナル部分ハ從來歐洲先進國ノ工業品ヲ消費セシ者カ戰爭ニ由リ其供給ヲ絶タレタ爲メニ、我輸出品ヲ以テ之ニ代用スルカ爲メテアル。然ルニ歐洲先進國ノ商品ハ概シテ我商品ヨリモ品質カ優良テアル故、消費者カ我商品ヲ之ニ比較シテ不滿ヲ訴フルハ已ムヲ得ナイ。我商品ハ概ネ下等テアルガ、今日ハ原料ノ騰貴ヤ船舶運賃ノ暴騰ノ爲メ其輸出價格ハ頗フル高ク、以前ノ歐洲品ヨリモ更ニ騰貴ヲ示セル場合モ少ナクナイ。固ヨリ今日歐洲品ノ輸出カ行ハレルトスレハ、其價格ハ更ニ著シキ騰貴ヲ示スコトトナルテアラウガ、市況ニ暗ラキ一般消費者ハ此ノ如キ事情ヲ顧スシテ我商品ノ高價ナル割合ニ品質カ粗惡ナリト考ヘル。又今日ノ輸出品ノ中ニハ戰爭前ニ我國ニ於テ多ク生産セラレス、或ハ我國自身モ其供給ヲ歐洲ヨリ仰キタリト云フカ如キ新規ノモノモ少ナクナイ。此種ノ生産ニ付テハ我國ノ經驗熟練ノ足ラヌ爲メニ品質ノ甚タ粗惡ナルモノ多ク、時トシテハ僅カニ外觀ヲ備フルニ止ツテ實用ニ適セサルカ如キモノモアル

第二ニ戰時ノ輸出増加、特ニ從來輸出ノ行ハレサリシ新規ノ高級品ノ輸出ハ、先進國カ戰爭ニ忙殺セラレテ居ル間行ハレ得ヘキ一時的ノモノニ過キナイ。戰爭カ終レハ先進國ノ捲土重來ノ爲メ我商品カ依然トシテ市場ヲ維持スルコトハ殆ント不能テアルト云フ思想カ生産者及商人ノ間ニ尙ホ頗フル有力テアル。此ノ如キ思想カ存スル上ハ後日ノ信用ヲ顧慮スルコトモ弱ク、一時ノ利ヲ得ル爲メニ粗製濫造ヲ敢テスルコトハ已ムヲ得ナイ。歐洲優良品ヲ慣用シタル海外消費者カ我商品ニ不満足ヲ感シ、戦後ニハ再ヒ日本品ヲ使用セスト云フカ如キ不平ヲ漏ラスコトハ、我當業者ヲシテ益其輸出事業ヲ一時的ノモノト考ヘシメル原因トナル。最モ戰爭カ永ク續クト共ニ我生産者ノ經驗熟練ノ増加スルニ從ツテ次第ニ其自信力モ高マリ、近頃ハ彼等ノ間ニ戦後ニモ一旦ヒ海外市場ニ占メ得タル地歩ヲ維持スルコトカ必シモ不能テナイト云フ思想ヲ生シ、之ニ伴フテ其態度カ次第ニ健實トナリツ、アルハ喜フヘキ現象テアル。平素ハ粗製濫造ノ取締ニ對シテ反對スルコトヲ常トスル當業者ノ間ニ於テ次第ニ其取締ヲ必要トスルノ説カ有力トナリツ、アルハ即チ彼等ノ自信力ノ増進ヲ示スモノテアル

二 粗製濫造取締ノ必要

歐洲戰爭ハ我生産及輸出ノ發展ニ大ナル刺戟ヲ與ヘタガ、戦後ノ經營上最モ必要ナルハ戰爭中偶

然ニ我輸出品ノ海外市場ニ占メ得タル地位ヲ先進國ノ競争ニ對シ飽クマテ維持スルコトテアル。然ルニ之ヲ維持スルニ最モ必要ナルハ成ルヘク商品ノ品質ヲ改良シ、特ニ需用者ニ意外ノ損失ヲ蒙ラシムルカ如キ粗製濫造ヲ防クコトテアル。從來我輸出ノ發展ヲ圖ルニ付テハ先進國ト激烈ナル競争ヲ爲スコトヲ必要トシタガ、先進國ノ商品ハ概テ我商品ヨリモ高價ノ優良品テアル故、購買力ノ大ナル階級及地方ノ需用ニ應スルカ爲メ我國カ之ト競争スルコトハ頗フル困難テアリ、寧ロ我商品ハ購買力ノ小ナル中層以下ノ多數者階級ニ漸次販路ヲ擴ケ、又購買力大ナル都會ヨリ次第ニ其ノ小ナル田舎ニ深ク入り込ムヲ得策トシ、從ツテ我生産能力ヨリ見テ品質改良ノ可能ナル場合ニモ、輸出發展策トシテハ品質ヲ改良スルヨリモ寧ロ價格ヲ低廉ニスルコトヲ重シトスル場合力決シテ少ナクナカツタ。然ルニ今回ハ軍需品以外ノ普通商品ノ輸出増加ニ付テ見ルニ、其大部分ハ先進國ノ優良品カ戦争ニ由リ杜絶減退シタ爲メ、不満足ナカラ我商品カ之ニ代用セラル、爲メテアル。例ヘハ英露ニ對スル輸出ノ増加ハ主ニ獨逸其他ノ歐洲諸國ノ商品ノ代用トシテ需用セラレ、米國ヘノ輸出増加ニモ同様ノ原因ニヨルモノカ少ナクナイガ、更ニ東洋南洋ヘノ輸出増加ニ付テ見ルモ歐洲品ノ代用トナレル部分カ頗フル多イ。東洋南洋諸國ハ概シテ未タ此戦争ノ爲メニ好景氣ヲ呈シテ民衆ノ購買力カ増加シテ居ルノテハナク、其總輸入額ハ戰前ヨリモ減少セル場合カ多イ。只タ歐洲品カ著シク減少セルニ對シテ我商品カ著シキ増加ヲ示シ、米國品モ亦相當

ニ増加シテ居ルノテアル。成ルホド戰後歐洲諸國ノ生産力ノ恢復ハ容易テナク、從ツテ我國カ此際過度ノ通貨膨脹及物價騰貴ノ勢ヲ抑制スルノ方法ヲ講スルナラハ、我商品ノ品質ノ劣レルニ係ハラス、價格ノ上テ歐洲品ト競争シテ戰爭中ニ占メ得タル地位ヲ或程度マテ維持スルノ見込カアルトハ云へ、大體ニ於テ今日ヨリ品質ノ改良ヲ行ハサレハ之ヲ維持スルコトカ願フル困難テアラウ。是レ今日ハ特ニ品質改良ニ重キヲ置クノ必要ナル所以テアルガ、此外世界經濟ノ發展ノ趨勢ヲ顧ルトキハ、我國ハ從來ノ如ク勞銀ノ低キ不熟練勞動ヲ利用シテ廉價ノ下等品ノ生産ヲ主トスルヲ得ナイ。是レ内ニ在テハ經濟ノ進歩スルニ伴フテ不熟練勞動者ノ勞銀カ比較的ニ多ク騰貴シ從ツテ主ニ之ニ依頼スル所ノ生産ハ次第ニ不經濟トナリ、外ニ在テハ我工業品ノ最大得意先キタル東洋南洋ノ後進國民ノ覺醒スルニ連レ、廉價ノ下等品ヲハ自カラ生産スルノ勢ヲ示シツツアルカ爲メテアル。實ニ今次ノ歐洲戰爭ノ我經濟上ニ及ホシタ利益ハ數量の増進ヨリモ寧ロ品質的發展ノ爲メニ無二ノ好機會ヲ與ヘタコトデアツテ、吾々ハ此好機會ニ乘シ世界大勢ノ發展上必要トナツタ所ノ經濟上ノ大刷新ヲ斷行セネハナラス。特ニ注意スヘキハ此戰爭ニ由テ我國カ優良品生産ノ好機會ヲ與ヘラレタルト同シク、東洋南洋ノ諸國民モ亦下等品ヲ自カラ生産スルノ好機會ヲ與ヘラレテ居ルコトデアル。

此ノ如ク我輸出品ノ品質改良ハ今日ノ急務テアルガ、工業ノ充分ニ進歩セサル我國ニ於テハ之ヲ

改良スルニハ種々ノ困難カアリ、急ニ歐洲品ト同等ノモノヲ生産セントスレハ、價格カ不相當ニ高クナツテ輸出ノ發展ヲ妨ケル場合モ少クナイ。故ニ其改良ハ主トシテ當業者各自ノ努力ニ由ル自然ノ發展ニ待タネハナラヌノテアルガ、實メテ此際自殺的ノ惡結果ヲ生スル粗製濫造ヲ充分ニ防止シ、以テ外國市場ニ於ケル我商品ノ信用ヲ維持スルノ策ヲ立テネハナラヌ。元來各國民ノ諸外國ニ紹介セラレルニハ其輸出品ニ由ルコトカ多イノテアルガ、從來我國民ハ外人ヨリ尙武的又ハ軍國主義的ナリト認メラルルト同時ニ、我輸出品カ概ネ粗惡テアツテ欺瞞的ノ粗製濫造モ少ナカラス、取引上ノ規律モ嚴正デナイ爲メ、道德上ヨリハ劣等國民ナリト認メラルル傾カアツタ。今次ノ歐洲戰爭ニ由テ國際政治上我國ノ地位ハ俄カニ重キヲ加フルニ至ツタガ、一面ニハ粗製濫造品ノ輸出ニ由テ國民ノ威信ヲ毀クルカ如キ缺點ヲ矯正スル重大ノ責任カ之ニ伴フテ來タ。既ニ述ヘタ如ク粗製濫造ハ必シモ當業者ノ故意過失ニ由ラサル場合モアルガ、大體ヨリ見テ此批難ヲ招クコト多キハ我國ノ道德上ノ弱點ヲ示スモノテアリ、特ニ目下ノ粗製濫造ハ戰時ノ混亂ニ乘シテ一攫千金ヲ利セントシ、後日ノ信用ヲ顧慮シナイト云フ不眞面目ナ精神ヨリ起ツタモノノ多キハ爭ハレヌ事實テアル。米國カ大ナル戰爭成リ金國テアル如ク、我國ハ小ナル戰爭成リ金國テアルガ、凡テ偶然利得者ニ取ツテ必要ナルハ極力其精神的墮落ヲ妨クルコトテアル。歐洲先進國ノ戰後ノ經濟上ノ恢復ハ頗フル難事テアルトハ云へ、彼等ハ此大戰爭ニ由テ大ナル精神的鍛鍊ヲ積

ミツツアル故、我國カ戰後之ト競争スルカ爲メニハ最モ眞面目ニ準備セテハナラヌ。

今日ハ我工業ノ優良品生産ニ向テ發展スルノ好機會アリ、特ニ自殺的結果ヲ生スルカ如キ粗製濫造ノ防止ニ最モ力ヲ注クヘキ時期テアルガ、一面ニハ之ヲ防止スルコトノ割合ニ容易ナ時期テアル。粗製濫造ノ主因ハ前ニ述ヘシ如ク我工業ノ多數カ未タ幼稚ナル家内工業ノ域ヲ脱シ得サルコトテアルガ、之ヲ脱シ得サル所以ノ重ナルモノハ工場組織ニ必要トスル所ノ資本ノ缺乏テアル。然ルニ今日金融界ハ稀有ノ緩慢ヲ呈シツツアルト同時ニ、紡績梳毛機械ノ如ク特ニ精巧ナモノテ、英獨佛等ノ供給ヲ待ツノ外ナキ機械類ハ別トシ、一般ノ雜貨生産ヲ工場組織ニ變スルカ爲メ必要トスル所ノ實物資本ハ必スシモ得難クハナイ。故ニ當業者ニシテ鞏固ナル決心ヲ有スルナラハ、生産組織ヲ變更スルコトハ容易テアル。特ニ歐洲戰爭ハ短時日ノ間ニ終熄スルノ見込カ立タヌ有様テアルガ、戰爭中及ヒ少クモ戰後暫クノ間ハ我輸出ノ隆盛ニシテ有利ナルコトカ確實テアル故、新設工場ハ此期間ニ於テ相當ニ資力ヲ充實スルト共ニ營業上ノ經驗ヲ積ミ、以テ其基礎ヲ鞏固ニスルノ見込カ充分ニアル。近來重要輸出品ノ生産カ家内工業ヨリ工場組織ニ移ルノ形勢カ全ク無イテハナナガ、其實例ハ未タ僅カニ過キナイ。是レ今尙ホ實業界ニ於テ戰時ノ發展ヲ一時的ノモノト考ヘ、戰後ニ於テモ飽クマテ其地位ヲ維持セントスルノ覺悟ニ乏シイ爲メテアル。資本ノ固定ヲ必要トスルコト少ナキ家内工業組織ヲ探レハ、戰後ノ競争ニ於テ不利ニ陥ツタトキ

直チニ其事業ヲ收縮シ、其資本ヲ回收シテ損失ヲ免ルルコト易キニ反シ、一旦工場ヲ設ケテ之ニ資本ヲ固定スルトキハ、事業不況ノ場合ニ資本ヲ回收シ得サル故、飽クマテ事業ノ整理ト改良トニ由テ困難ニ打勝ツノ覺悟ヲ必要トスルト同時ニ、當業者ニ此ノ如ク其事業ト浮沈ヲ共ニスルノ覺悟カアツテ初メテ品質ノ改良ヤ生産費節約ノ工夫モ可能トナリ、又粗製濫造ノ誘惑ヲモ避ケ得ルノテアル。

以上ハ今日粗製濫造防止ノ實行シ易キ内部的原因テアルガ、更ニ今日ハ同様ノ外部的原因モ存在スル。蓋シ平時ノ世界市場ニ於ケル列國ノ競争ハ甚タ激烈テアル故、其間ニ立ツテ後進ノ我國カ輸出ヲ増加セントスレハ頗フル自由ニ市場ノ掛引ヲ行ハチハナラヌ、從ツテ輸出商人ノ自由ノ活動ヲ拘束スルコトカ困難テアツテ、内地工業家ハ商人ノ意思ニ服從セテハナラヌ。特ニ輸出貿易ハ輸入ト異ツテ外國商人ノ力ニ多ク依頼セテハナラヌ。其結果我工業家ハ商人ニ對抗シテ其生産物ニ自己ノ商標ヲ附スルコトヲ主張シ難キハ勿論、往々商人ノ命ニ從フテ之ニ英國製獨逸製ト云フカ如キ記號ヲ附シ、又其注文ニ應シテ粗惡品ヲモ送り出サテハナラヌ。購買力ノ小ナル階級及地方ニ向ツテ漸々ニ販路ヲ擴張スルノ必要多キ平時ニ在テハ、價格ヲ低廉ニスルコトカ特ニ重要トナル故、品質上ノ注意ニ付テハ寛大自由ノ方針ヲ探ルコトヲ必要トスル場合モアリ、從ツテ粗製濫造ヲ防止セントシテ商業的活動ノ自由ヲ制限スルコトハ甚タ危險テアル。然ルニ今日ハ世

界市場ニ於ケル列國ノ競争カ甚タ衰退シ、我商品カ殆ント獨占的ノ地位ヲ占メル場合モアル故、我工業家ハ商人ノ勢力ニ對抗シテ自己ノ眞利益ヲ擁護シ得ル地位ニ立チ、自殺的結果ヲ來タスカ如キ粗惡品ノ注文ヲ拒ムコトモ出來ル。特ニ目下ノ輸出増加ハ歐洲優良品ノ市場ヨリ退却シタル爲メニ生シタ空位ヲ填充スルコトヲ主トスル故、我輸出品ノ品位ヲ一定シテ夫レ以下ノ粗惡品ノ輸出ニ制限ヲ加ヘルト云フカ如キ商業的活動ノ自由ヲ拘束スルコトハ、平時ニ於ケルカ如キ危険ヲ伴フモノテハナイ。

三 生産者商標ノ強制

粗製濫造ヲ防クニハ其原因ヲ除ク所ノ根本的方法ヲ必要トスルガ、此方法ハ戰爭中ニ於テ速カニ我輸出品ノ信用ヲ恢復シ、又ハ其失墜ヲ豫防シテ戰後ノ競争ニ準備スルカ爲メニハ、其效果カ緩慢ニ過キル。實業界ノ規律ヲ嚴正ナラシムルコトヤ、家内工業ヲ變シテ工場組織トスルコトハ、假令ヘ之カ實行ヲ助クル所ノ制度ヲ設ケ、例ヘハ不正競争取締法ヲ制定勵行シ、又ハ工業金融制度ヲ改良シテ工場ノ設立ヲ助クルカ如キ手段ヲ探ルトシテモ、其效果ハ目前ノ粗製濫造ヲ防止スルカ如ク急速ニ現狀ヲ一變スル方アルモノテハナイ。勿論此根本的方法ハ公私各方面ノ力ニ由テ平時ヨリ之カ實行ニ努ムヘク、特ニ戰時ノ今日ニ於テハ一層ノ努力ヲ必要トスルガ、之ト同時ニ粗製

濫造ヲ外部ヨリ制壓スル所ノ應急策ヲ講セテハナラヌ、此應急策トシテ理論上ハ種々ノ方法モ考ヘラレルガ、目下實際ノ問題トナリ得ルモノハ商品検査ノ制度テアル。此外一部ノ論者ノ間ニハ此際一切ノ輸出品ニ對シテ其生産者ノ商標又ハ記號ヲ附スルコトヲ強制スヘシトノ議論モアル。此商標強制ヲ商品検査強制ト同列ノ應急策トスルコトハ聊カ穩當ヲ缺クノ嫌ハアルガ、此問題ハ未タ多ク世論ニ上ラナイヤウテアルカラ便宜上先ツ之ヲ研究スル。

輸出品生産者ヲシテ各自其商標記號ヲ附セシムルコトトスレハ、各生産者ハ勉強スレハスル程自カラ利益シ、粗製濫造シテ需用者ニ不親切トナレハ必ラス自カラ損失ヲ蒙ムリ、一面ニハ自己ノ粗製濫造ニ由テ一般營業者ノ信用ヲ毀クルカ如キ弊害ヲ生シナイ。工業家ハ商業家ト異ツテ其資本ヤ技能ヲ専門ノ事業ニ固定スルコト多キ爲メ、目前ノ小利ニ眩惑シテ永遠ノ信用失墜ヲ生スルカ如キ粗製濫造ヲ爲スノ弊少ナシト云フコトハ、各生産者カ自己ノ商標ヲ其生産物ニ附シテ海外消費者ニ對シ直接ニ責任ヲ負フ場合ニ於テ完全ニ主張シ得ル事柄テアル。此ノ如キ健全有利ノ結果ヲ生スル事柄カ今日マテ汎ク實行セラレナイ所以ハ、生産者ノ勢力弱クシテ商人ノ壓迫ニ反對シ得ナイ爲メテアルトスレハ、如上ノ強制法ヲ設ケテ商人ノ不當ノ壓迫ヲ排セテハナラヌ。平時ニ在テハ生産者カ其商品ヲ海外ニ輸出紹介スル所ノ内外商人ノ意思ニ反對スルコトハ危險テアル。何トナレハ之ニ反對シテ自己ノ商標ヲ附セントスレハ、商人ハ日本品ヲ取扱フコトヲ嫌フテ更ニ

有利ナル他國ノ商品ヲ取扱フコトナリ、之カ爲メ我國ノ輸出カ不振ニ陥ルノ危險カ少ナクナイカラテアル。然ルニ戰時ノ今日ニ在テハ日本以外ノ國ヨリ適當ノ商品ヲ有利ニ仕入レルコトカ甚タ困難ナ場合カ多イ故、我商品ニ生産者ノ商標ヲ附スルコトヲ強行スルモ、商人ハ喜ンテ之カ販賣ノ任ニ當ルノテアル。加之從來我國ニ於テ先進國ノ商品ニ劣ラサル優良ノモノカ生産セラレテモ、工業國トシテノ我國ノ信用カ世界市場ニ乏シキ爲メ、此ノ如キ優良品ハ多ク獨逸製又ハ英國製ノ如キ銘ヲ附シテ輸出セラレテ居タガ、今次ノ戰爭ニ由テ此等ノ商品カ日本製テアリ、從ツテ日本製必シモ悉ク粗惡品ニアラサルコトカ相當ニ汎ク海外市場ニ知ラルルニ至リ、之カ爲メ我國ノ工業國トシテノ名聲ヲ高メタ場合モ少ナクナイ。然ルニ今生産者商標強制法ヲ行フトキハ、獨リ粗製濫造ヲ防クニ大ナル效力アルノミナラス、同時ニ其商品カ日本製ナルコトヲ消費者ニ知ラシムルノ機會モ増加シ、之ニ由テ益我國ノ信用ヲ高メルコトカ出來ル。

以上ハ商標強制論ノ要點テアルガ、此論ハ實際ニ適切ナルモノテナイ。元來粗製濫造ノ弊ハ主ニ多數ノ細小企業ニ由テ生産セラレタモノヲ集合シ、之ヲ大量品トシテ汎ク内外市場ニ販賣スル場合ニ起ルノテアルガ、第一ニ此種ノ生産ハ多ク家内工業組織ニ由テ行ハレル。然ルニ此工業ニ於テ技術的勞働ヲ爲ス者ハ通例企業者ノ直接監督ノ下ニ立ツ勞働者テナク、企業者ヨリ原料器具等ヲ供セラレ、一定ノ見本ニ從ツテ自宅ニ勞働スル者テアル。此種ノ勞働者ノ作業ニ對シテハ到

底工場労働者ノ場合ノ如ク嚴重ノ監督ヲ行ヒ難キノミナラス、家内工業ノ企業主ハ寧ロ商人的性質ヲ有スル者テアルカラ、其労働者カ自宅ニ於テ自由ニ生産シタ物ヲ受取ルニ方リ、適當ノ検査ヲ爲ス能力ノ不充分ナル場合モ多ク、又此種ノ商人的企業者ハ多大ノ資本ヲ其事業ニ固定セル工場主ホドニ事業ト浮沈ヲ共ニスルノ思想カ強クナク、從ツテ自己ノ商標ノ信用ヲ重ンスルノ程度モ、商人カ其取扱商品ニ自己ノ商標ヲ附スル場合ト多ク異ラヌ場合モ多イ。第二ニ家内工業ト小工場トヲ問ス、多數ノ小企業ニ由テ生産セラレタ同種品ヲ集合シ、之ヲ大量品トシテ輸出スル場合ニハ、各生産者ノ生産物ノ間ニ消費者ノ注意ヲ惹クカ如キ特徴ヲ有セス、從ツテ各生産者カ其小量ノ生産物ニ夫レ々々自己ノ商標ヲ附スルモ、其各商標ハ消費者ニ取ツテ特別ノ意義ヲ有セヌコトトナル場合カ多イ。第三ニ不完全ナル小企業就中家内工業ノ生産物ハ主ニ單純ナル手工的作業ニ由リ、特ニ婦女老幼ノ不熟練労働ニ由ルコト多ク、從ツテ其生産物ハ機械分業等ノ作業方法ノ整然タル工場工業ノ生産物ノ物ノ如ク個々ノ品質カ整一トナリ難イ。此ノ如キ品質ノ區々ナル商品ニ對シテ其生産者ノ商標ヲ附スルモ、其商標ハ確定品質ノ保證トナラス、從ツテ消費者モ其商標ニハ信用ヲ置カナイ。此ノ如ク殆ント無意義ノ商標ヲ強制スルコトハ獨リ徒ラニ生産者ニ手數費用ヲ負擔セシメテ生産ノ發展ヲ害スルノミナラス、生産者カ多人數ナルカ爲メニ其間ニ商標ノ混同ヤ摸造カ行ヘレテ常ニ紛議ヲ生スルヲ免レナイ。第四ニ個々ノ生産者ニ由テ小量ツツ生産

セラレタモノヲ集合シテ輸出商人カ之ヲ世界市場ニ向フ所ノ大量品ト爲スニハ、生産者別ニ之ヲ分類シ難ク、全體ヲ渾一シテ更ニ適當ノ分類ヲ施サテハナラヌ。然ルニ各生産者カ其生産物ニ自己ノ商標ヲ附スルトキハ、輸出商カ輸出ニ必要ナル分類ヲ爲スニ方リ、其ノ同一類トシタモノカ各種異様ノ商標ヨリ成立スルコトトナルト同時ニ、別類トシタモノノ間ニ同一ノ商標カ見出サルル結果トナリ、到底適當ノ分類ヲ施コシテ商品ノ價值ヲ高ムルヲ得サル場合ヲ生シ、大ニ輸出ヲ阻碍スルヲ免レナイ。

輸出品カ相當ノ規模ノ工場ニ由テ生産セラレ、從ツテ其品質カ整一テアリ、又相當ニ消費者ノ注意ヲ惹クニ足ル特徴ヲ有スルモ、只タ其生産者ノ勢力カ未タ商人ニ對抗スルニ足ラサルカ爲メ自己ノ商標ヲ附シ得サル場合ニハ、論者ノ主張スル強制法ハ有利ノ結果ヲ生スルテアラウ。併シ乍ラ今日粗製濫造ノ弊ヲ生スル輸出品ハ盡ク小企業ニ由テ生産セラルルカ、又ハ其一部分カ相當ノ大工場ニ由リ、他ノ大部分カ多數ノ小企業ニ由テ生産セラレルモノテアル。故ニ商標強制ヲ有效ナラシメントスレハ、同種類ノ商品ニテモ大工場ノ生産ニ係ハルモノニ限ツテ之ヲ適用シ、或ハ更ニ進ンテ小企業ノ同種ノ生産物ニハ生産者ノ商標ヲ附スルコトヲ禁ゼテハナラヌ。併シ乍ラ商標ニ關シテ此ノ如ク大小企業ノ區別ヲ公平適實ニ定マル所ノ標準ヲ見出スコトハ事實上不能テアル。同種輸出品ノ生産ニ付テ工場工業ト家内工業ト併立スル場合ヲ見ルニ、通例其工場ハ機械ノ

應用ヤ分業ノ工夫等ニ付キ多大ノ進歩ヲ爲サス、從ツテ其生産費モ家内工業ヲ壓倒スル程ニ著シク節減スルヲ得ス、其生産物ノ品質モ確實ニ整一ヲ保證シ得サルカ如キ場合カ多イ。又工場工業ノ生産物ト稱スルモ、其實工場ニ於テハ原料ヲ粗製スルニ止マツテ、更ニ手數ヲ要スル工程ヲ家内工業ニ由テ行ハシメルト云フカ如ク、生産工程ノ一部分ヲ爲スニ過キサル場合モ少ナクナイ。此ノ如キ生産物ハ之ヲ全部工場内ニ於テ生産シタルモノニ比スレハ品質カ區々トナルヲ免レナイ。要スルニ商標強制上大小企業ヲ適當ニ區別スルコトハ困難アアル。尙ホ粗製濫造ヲ取締ル爲メニ商品検査制度ヲ行フニ付テモ、大企業カ其生産物ニ自己ノ商標ヲ附シテ輸出スル部分ニハ検査ヲ免除シ、小企業ノ生産ニ係ル商品ト大企業ノ生産物ナルモ其商標ヲ附スルコトニ由テ消費者ニ對シ責任ヲ明カニスルヲ欲セサル部分トニ付テ検査ヲ強行スルト云フカ如キ差別的取扱ヲ設クヘシトノ説モアル。海外ノ需用ノ急ニシテ之ニ應スル爲メニハ船腹ノ不足ヲ告クルコト大ナル今日ニ於テ、大企業カ其生産物ニ自己ノ商標ヲ附スルノ一事ニ由リ検査ノ手數費用ヲ免レ、特ニ検査ノ爲メ抑留セラレテ徒ラニ商機ヲ逸スルノ危険ヲ免レ得ルコトトスルトキハ、之カ輸出ヲ取扱フ所ノ商人モ喜ンテ大企業者カ自己ノ商標ヲ其生産物ニ附スルコトヲ承認シ、其結果商標權カ商人ノ手ヨリ生産者ニ移ルノ利益ヲ生シ、延ヒテ輸出品ノ生産ニ付キ大企業ノ成立ヲ獎勵スルコトトナルテアラウガ、此制度ヲ實行スルニ方ツテモ大小企業ヲ公平ニ區別スルノ標準ヲ見出スコ

トカ不能テアル。

我輸出品ノ多數カ不完全ナル小企業ニ由テ生産セラルル爲メニ獨リ粗製濫造ヲ生シ易キノミナラス、今回ノ如ク海外ノ需用ノ急激ニ増加シタ場合ニ於テ速カニ之ニ應スルノ能力ヲ有セサルコトハ、目下吾人カ痛切ニ其不利ヲ感シツツアル所テアリ、特ニ歐洲諸國ニ於テハ戰爭ノ影響トシテ諸般ノ生産業カ大規模ニ合同統一セラレタ場合カ多ク、從來企業ノ分烈割據ノ狀ヲ呈シタ英國ノ如キモ此戰爭ニ由テ大ニ其缺點ヲ覺リ、目下盛ンニ企業ノ合同集中ヲ企テ、之ニ由テ大ニ戰後ノ世界市場ニ勇飛セントシツツアル。故ニ我國モ戰後列國ノ競争ニ對抗スルカ爲メニハ今日ノ不完全ナル小企業ヨリ大企業ニ移ルコトヲ得策トスルノテアルガ、此ノ如キ企業組織ノ進化ヲ促カスニハ工業資本ノ融通ヤ技術ノ改良ヤ低廉ナル動力ノ供給ヲ圖ルカ如キ内面部政策ヲ講スルコトヲ必要トスル。商標法ヤ商品検査法ノ差別的取扱ニ由テ之ヲ促カスコトハ事實上困難テアル。